

令 和 7 年 度

事 業 概 要 書

豊 後 大 野 土 木 事 務 所

目 次

1.	職員配置表	1
2.	管内の現況	2
	（１）道路現況（国道、県道）	3
	（２）河川現況	4
	（３）砂防現況	5
3.	令和7年度の事業概要	
	（１）主要施策の執行状況	8
	（２）公共事業施行箇所調書	10
	（３）単独事業調書	17
	（４）災害復旧事業進捗状況調書	18
	（５）検査箇所調書	18
	（６）建設リサイクル法第10条に基づく届出及び第11条に基づく通知件数	18
4.	用地登記事務処理状況	19
5.	建築関係事務処理状況	
	（１）建築確認申請、建築工事届、建築許可及び住宅金融公庫申請件数	19
	（２）建築基準法による道路位置指定件数	19
	（３）都市計画法第29条第1項及び第2項に基づく開発許可件数	19

1 職員配置表

(令和7年4月1日現在)

現員組織		職 種	一般行政職		技能労務職員					計	非常勤嘱託	備 考	
			事務	技術	事 務 補 佐	技 術 補 佐	技師	道路パトロール員	土木巡視				業務技師 (道路パトロール員)
現 員	所 長			1							1		小計 1
	総務課	次長兼課長	1								1		
		総 務 班	5								5	2	
		用 地 班	4								4	4	小計 16
	企画調査課	課 長		1							1		
		企 画 調 査 班		3							3		
		建 築 住 宅 班		3							3	1	小計 8
	建設・保全課	課 長		1							1		
		管 理 班	3						1		4	2	
		保 全 班		5		1		1			7	1	
		道 路 班		5							5		
		河 川 砂 防 班		5							5		小計 25
	計		13	24	0	1	0	1	1	0	40	10	総合計 50

2. 管内の現況

当管内は、県の南西部に位置し、南部は祖母、傾連山にて宮崎県と接し、中央部を大野川が南西から北に向って貫流している。平地部は大野川本川と支川に沿って開けているが、山間部が管内面積の74.2%を占めている。

所管面積は603km²であり、佐伯土木事務所、大分土木事務所、日田土木事務所に次いで4番目となっている。

なお、当事務所管轄の豊後大野市は、平成17年3月31日、旧5町2村の合併により誕生した。旧町村別の面積、人口は、下表のとおりである。

市内地区名	旧三重町	旧清川村	旧緒方町	旧朝地町	旧大野町	旧千歳村	旧犬飼町	
面積	162 km ²	47 km ²	148 km ²	68 km ²	109 km ²	21 km ²	47 km ²	603 km ²
人口	15,426 人	1,619 人	4,057 人	2,041 人	3,640 人	1,778 人	3,147 人	31,708 人
高齢化率						65歳以上	14,490 人	45.7%

[令和7年 3月 31日現在]

2. 管内の現況

(1) 道路現況（国道、県道）

（整備状況）

（令和5年3月31日現在）

道路種別	路線数	実延長 (km)	改良内訳		舗装内訳	
			改良済 (km)	改良率 (%)	舗装済 (km)	舗装率 (%)
国 道	(5)	(86.8)	(84.0)	(96.8)	(86.8)	(100.0)
	3	58.4	55.7	95.3	58.4	100.0
主要地方道	6	90.9	56.2	61.8	90.9	100.0
一般県道	18	164.6	107.5	65.3	162.9	98.9
計	(29)	(342.3)	(247.7)	(72.4)	(340.6)	(99.5)
	27	313.9	219.4	69.9	312.2	99.5

注1. 上段 () は、国道の指定区間を含んだもの。

注2. 改良率は、車道幅員5.5m以上のもの。

注3. 旧道は含まない。

（橋梁数）（令和7年3月31日現在）

道路種別	箇所数	延長 (m)
国 道	41	3,138.2
主要地方道	86	1,968.6
一般県道	118	3,737.4
計	245	8,844.2

注1. 旧道は含まない。

注2. 国道指定区間は含まない。

（トンネル数）（令和7年3月31日現在）

道路種別	箇所数	延長 (m)
国 道	8	3,230.6
主要地方道	5	1,204.7
一般県道	5	580.1
計	18	5,015.4

注1. 旧道は含まない。

注2. 国道指定区間は含まない。

2. 管内の現況

(2) 河川現況

(一級河川：大野川水系)

(令和7年3月31日現在)

河川名	延長(km)	河川名	延長(km)	河川名	延長(km)	河川名	延長(km)		延長(km)
大野川	38.8	市万田川	10.0	秋葉川	2.3	西風寺川	3.0		
宇津尾木川	4.9	玉田川	5.2	福生寺川	2.0	小賀川	1.8		
柴北川	21.8	長谷川	2.2	牟礼川	1.7	真竹川	6.0		
栗ヶ畑川	3.5	三重川	18.0	奥岳川	28.0	緒方川	16.5		
成瀬川	3.3	又井川	6.3	中津無礼川	16.8	酒井寺川	8.7		
木浦内川	2.2	石用川	1.5	田口川	2.0	尾尻川	2.0		
茜川	18.3	軸丸川	2.0	広戸川	3.8	知田川	2.0		
西寒多川	0.9	西野川	1.2	藤浪川	2.5	小園川	1.8		
清田川	4.2	田代川	5.7	北園川	1.2	下小坂川	2.7		
熊ヶ谷川	2.8	菅生川	3.4	川入川	2.8	高屋川	2.5		
九折川	3.6	松尾川	6.0	徳田川	6.8	奥畑川	9.0		
平井川	17.8	加原川	1.6	寺畑川	2.3	板屋川	1.7		
中犬塚川	2.3	馬背戸川	8.5	十時川	6.1	枝石川	1.0		
竜千寺川	1.2	向原川	6.9	川内川	0.7				
								計 55 河川	341.8

2. 管内の現況

(3) 砂防現況

(砂防指定地)

(令和7年3月31日現在)

河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)		延長(m)	面積(ha)
下栗林川	460	11.46	小津留川	2,400	4.80	中土師川	250	0.80			
松尾川	4,500	—	並石川(三重)	1,900	7.99	藤浪川	235	0.91			
小坂川	2,500	7.00	福原川(三重)	800	3.80	岩ノ上川	—	0.67			
三重川	5,400	13.32	津留田川	1,400	5.99	岩杉川	385	1.04			
三重川支川	30	—	申子川	1,300	7.11	片神川	137	0.55			
中津無礼川	8,300	25.00	仁田川	500	6.76	田附川	330	4.14			
久保尻川	1,000	3.00	岩下川	282	1.50	栗ノ木川	360	1.20			
冷水川	800	2.80	普門寺川	1,400	33.60	上重川	205	1.42			
桑ヶ内川	400	1.40	宮迫川	2,400	60.00	井ノ迫川	460	1.37			
木和田川	400	1.40	犬鳴川	3,500	70.00	衣掛川	119	0.44			
柚河内川	1,000	3.50	轟川	2,655	20.00	うど谷川	310	3.36			
コチジ川	620	1.90	奥岳川	12,500	87.50	高寺川	500	9.50			
河原内川	500	1.50	岳川	546	2.50	遠野川	440	4.36			
梅津川	850	2.60	徳尾川	1,000	7.62	十時川支川	159	0.62			
奥ヶ迫川	500	1.50	川入川	650	1.91	酒井寺川	356	2.98			
梅ノ木川	400	1.20	栗林川	—	1.70	内山川	480	1.53			
芝尾川	1,500	2.20	寺山川	720	4.64	高寺川第2	250	2.52			
裏谷川	500	1.00	谷門谷川	550	5.70	黒谷川	300	8.19			
高屋川	2,600	2.60	平井川	6,300	15.90	下鷺谷川	174	1.51			
入北川	2,300	9.20	なら山川	580	5.00	大無礼川	209	0.74			
湯舟川	1,500	3.75	市万田川	3,400	22.18	吐合川	382	1.67			
山ノ口川	1,000	3.00	市万田川支川	1,000	—	北平川	240	1.10			
小木浦川	1,000	3.00	茜川	4,200	16.00	郷野平川一支溪	207	2.09			
吹原川	900	2.60	田代川(大野)	10,000	5.00	小福手谷川	254	0.58			
土祝川	1,000	4.00	柴北川	10,000	35.00						
荒谷川	1,700	5.10	木浦内川	900	12.80				合計	122,065	619.68
福河内川	1,000	2.50	酒井寺川支川	280	1.52						
鹿毛川	1,300	3.20	矢形川	200	0.14				計 80 河川		

2. 管内の現況

(3) 砂防現況

(急傾斜地崩壊危険箇所市町村別 (整備率) 一覧表)

(令和7年3月31日現在)

市内地区名	指定箇所数 A	危険箇所数 B	要対策箇所数 C	概成箇所数 D	要対策箇所の整備率 D / C
旧三重町	27	66	58	16	27.6%
旧清川村	5	15	14	4	28.6%
旧緒方町	18	54	52	15	28.8%
旧朝地町	16	36	29	11	37.9%
旧大野町	25	49	45	25	55.6%
旧千歳村	7	11	10	7	70.0%
旧犬飼町	15	41	32	17	53.1%
計	113	272	240	95	39.6%

※ 指定箇所：危険箇所のうち、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき急傾斜地崩壊危険区域に指定した箇所

危険箇所：急傾斜地崩壊危険箇所（斜面勾配30度以上で高さ5m以上の箇所）のうち、保全人家5戸以上の箇所

要対策箇所：危険箇所のうち、人工斜面（開発行為等により人工的にできた斜面）を除いた箇所

概成箇所：要対策箇所のうち、急傾斜地崩壊防止施設を整備済みの箇所

2. 管内の現況

(3) 砂防現況

(町村別地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域)

(令和7年3月31日現在)

市内地区名	地すべり防止区域		急傾斜地崩壊危険区域	
	指定箇所数	面積 (ha)	指定箇所数	面積 (ha)
旧 三 重 町	2	14.99	27	24.96
旧 清 川 村	—	—	5	4.79
旧 緒 方 町	1	17.11	18	20.02
旧 朝 地 町	2	43.08	16	23.03
旧 大 野 町	2	17.19	25	17.53
旧 千 歳 村	1	9.21	7	8.22
旧 犬 飼 町	1	31.50	15	13.92
計	9	133.08	113	112.47

(1) 主要施策の執行状況

【道路事業；(一)三重新殿線バイパス(牟礼前田工区)】

本路線は、現道は三重町駅から千歳町及び県道５７号竹田犬飼線へ至り、豊後大野市の東部を南北に結ぶ約８ｋｍの一般県道であるが、地域高規格道路である中九州横断道路千歳ＩＣと、豊後大野市中心部及び国道３２６号を連結する約１０ｋｍのバイパスとして、平成１０年度より着手した県南内陸部における広域交流を支える幹線道路である。

本路線は、全体を７工区に分割して整備を行い、平成１６年度に完成した前田新殿工区を皮切りに、平成１９年度に赤嶺工区、平成２５年度に内田赤嶺工区、平成２８年度に赤嶺牟礼工区、平成２９年度（平成２９年１２月）には内田工区、令和４年度（令和５年２月）には秋葉内田工区が完成し、６工区（約７ｋｍ）が供用されている。

牟礼前田工区は、平成２６年度より事業着手し、路線測量・地質調査・道路設計を行い、平成２８年度より用地買収に着手している。令和元年度から工事に着手し、令和７年度も引き続き工事進捗を図る。

【道路事業；国道３２６号(小坂工区)】

本工区は、法指定通学路に指定されているものの、歩道が未設置又は狭小区間であり、通学時間帯に歩行者・自転車が集中するため、児童が車道部にはみ出して通行するなど危険な状況であることから、自歩道整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間を確保し、安全性の向上を図ることを目的に、平成２９年度より交通安全事業に着手している。路線測量・詳細設計を行い、平成３０年度から用地買収に着手しており、令和４年度から工事着手をしている。令和７年度も引き続き用地買収を行うとともに、工事進捗を図る。

【道路事業；橋梁補修、トンネル補修】

当管内の橋梁（２４５橋）のうち、１巡目点検要対策箇所５７橋については、令和２年度末までに対策が完了。さらに２巡目点検要対策箇所３８橋については令和４年度末までに対策が完了している。３巡目点検(令和元年度～令和５年度)要対策箇所８橋については対策実施中であり、令和６年度までに４橋の対策が完了し、１橋が対策実施中である。令和７年度には、残る３箇所の対策に着手する。

また、トンネル（１９箇所(男嶽ＴＮ含む)）については、１巡目点検要対策箇所１４箇所は平成３０年度末までに対策が完了し、２巡目点検要対策箇所の６箇所は令和４年度に全６箇所の対策を完了した。３巡目点検(令和元年度～令和５年度)で確認された要対策箇所６箇所については、令和６年度までに１箇所の対策が完了し、２箇所が対策実施中である。令和７年度には、１箇所の工事着手、及び残る２箇所の調査設計委託に着手する。

橋梁及びトンネルともに、令和６年度より４巡目点検に着手している。

【河川事業；平井川(上流)】

平井川は河川断面が狭小であり、洪水の度に氾濫、平成１５年および１７年に家屋や田畑の浸水被害をもたらしてきた。事業延長が７．７ｋｍと長く事業規模が大きい、平成２年度の事業採択時より家屋等の資産がある箇所から順に河川改修を行っている。平成２２年度より朝地工区の特殊堤による嵩上げ工事に着手、令和７年度は朝地工区の完成に向けて工事進捗を図る。また、次期工区である下野工区については工事着手に向けた準備を進める。

(1) 主要施策の執行状況

【通常砂防事業；栗栖川】

本溪流内には溪岸浸食による土砂の堆積や倒木が見られ、近年の集中豪雨により土石流災害発生の危険性が懸念されている。また、栗栖川の土砂災害警戒区域には7戸の人家に加え、1次避難所である栗栖公民館、市道が存しており、ひとたび土砂災害が発生すると人命や社会活動に与える影響は大きい。

このため、砂防堰堤2基を計画し令和元年度より事業着手、令和7年度に砂防堰堤1基の完成を目指し、引き続き事業進捗を図る。

【地すべり事業；山内地区】

犬飼町山内地区は、保全対象として人家11戸および地域防災計画に記載された避難場所の山内集会所、県道中土師犬飼線を含む地すべり防止区域である。

昭和55年に地すべり変状が確認され、昭和57年度より事業着手し、平成13年度まで抑制工・抑止工を施工し一定の安全率の上昇が確認されたが、目標安全率までは到達できなかった。平成14年度より自動観測システムにより観測を行っているが、いまだ変状が確認されている。追加の対策工としてR6年度より集水井工を施工中であり、R7度中に集水井工1基の完成を目指し、引き続き事業進捗を図る。

【街路事業；駅前高市線（市場工区）】

駅前高市線は、JR三重町駅と国道326号を東西方向に結ぶ、都市計画道路である。本路線は三重第一小学校の通学路になっており、ほかにも、三重中学校、三重総合高校など多くの生徒が利用しているが、歩道がなく、通学生が路肩を歩く、車両の路肩停車の際には歩行者が車道にはみ出すといった、非常に危険な状態であることから、安全安心な都市空間の形成、JR三重町駅周辺のまちづくり、地域内の交通アクセス機能の改善を目的として、主に歩道等の設置を令和3年度より都市計画事業として着手している。

令和4年より用地買収に着手し、令和7年も引き続き用地買収を実施する予定である。

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調書

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川名	位 置		工 事 費(千円) 上書き () は用補費	新規継続 の 別	概 要	全 体 事 業 費 令 和 7 年 度 8 年 度 以 降	C = 金額 (千円) L = 延長(換算) (m)
					町 名	大 字					
1	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	三重弥生線 (松尾3)	三重町	松尾	(0) 7,000	継 続	C = 540,000 C = 7,000 C = 477,000	L = 290 m L = 4 m L = 256 m	
2	〃	防災・安全 交付金	道路改良	緒方朝地線 (上尾塚)	朝地町	上尾塚	(0) 104,000	継 続	C = 1,854,000 C = 104,000 C = 457,000	L = 1,230 m L = 69 m L = 303 m	
3	〃	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	緒方高千穂線 (小原)	緒方町	小原	(0) 10,000	継 続	C = 1,070,000 C = 10,000 C = 1,050,000	L = 660 m L = 6 m L = 648 m	
4	〃	防災・安全 交付金	道路改良	三重新殿線 (牟礼前田)	三重町	百枝	(1,000) 993,245	継 続	C = 8,800,000 C = 993,245 C = 2,133,000	L = 3,040 m L = 343 m L = 737 m	
			道路改良計	4 ヶ所			(1,000) 1,114,245				

令和7年4月1日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図 番 面 号	区 分	種 別	工 種	路線・河川名	位 置		工 事 費(千円) 上書き () は用補費	新規継続 の 別	概 要	全 体 事 業 費 和 7 年 度 8 年 度 以 降	C =金額 (千円) L =延長(換算)(m)
					町 名	大 字					
5	道 路	補助	交通安全	国道326号 (小坂)	三重町	小坂	(4,000) 49,000	継 続	C = 1,560,000 C = 49,000 C = 257,000	L = 960 m L = 30 m L = 158 m	
6	〃	補助	橋梁補修	宇目清川線 外 (内平橋 外)	三重町	伏野	(0) 117,749	継 続	C = 1,232,000 C = 117,749 C = 20,030	N = 103 橋 N = 3 橋 N = 1 橋	
7	〃	防災・安全 交付金	橋梁補修 (橋梁耐震)	国道502号 外 (新共栄橋 外)	清川町	天神	(0) 72,000	継 続	C = 8,237,000 C = 72,000 C = 6,358,414	N = 18 橋 N = 1 橋 N = 15 橋	
8	〃	防災・安全 交付金	災害防除	緒方高千穂線	緒方町	小原	(0) 50,000	継 続	C = 5,124,000 C = 50,000 C = 3,108,710	L = 3,897 m L = 38 m L = 2,364 m	
9	〃	防災・安全 交付金	舗装補修	国道502号 外	管内一円		(0) 11,000	継 続	C = - C = 11,000 C = -	L = 70 m	
10	〃	補助	施設修繕 (トンネル照明)	中土師犬飼線 外	管内一円		(0) 34,738	継 続	C = - C = 34,738 C = -	N = 2 箇所	
11	〃	補助	トンネル補修	国道326号 外	管内一円		(0) 15,260	継 続	C = - C = 15,260 C = -	N = 1 箇所	
-	〃	補助	橋梁点検	管内一円	管内一円	-	(0) 38,000	継 続	C = - C = 38,000 C = -	橋梁点検一式	
-	〃	補助	トンネル点検	管内一円 (県道)	管内一円	-	(0) 4,000	継 続	C = - C = 4,000 C = -	トンネル点検一式	
			道路補修計	9 ヶ所			(4,000) 391,747				

令和7年4月1日現在

注3：事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川名	位 置		工 事 費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の 別	概 要	
					町 名	大 字			令 和 7 年 度 8 年 度 以 降	C=金額(千円) L=延長(換算)(m)
12	河 川	防災・安全 交付金	広域河川	平井川 (上流)	朝地町	下野～朝地	(0) 20,000	継 続	C = 2,117,000 C = 20,000 C = 447,500	L = 77,000 m L = 727 m L = 16,277 m
13	"	防災・安全 交付金	広域河川	平井川 (下流)	大野町～朝地町	矢田～下野	(0) 20,000	継 続	C = 2,974,000 C = 20,000 C = 720,000	L = 9,350 m L = 63 m L = 2,264 m
			河川計	2 ヶ所			(0) 40,000			

- 12 -

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川名	位 置		工 事 費(千円) 上書き () は用補費	新規継続 の 別	概 要	全 体 事 業 費 令 和 7 年 度 8 年 度 以 降	C =金額 (千円) L =延長(換算) (m)
					町 名	大 字					
14	砂防	防災・安全 交付金	通常砂防	郷野平川二支溪	朝地町	栗林	(0) 1,000	継 続	C = 183,000 C = 1,000 C = 39,000	砂防ダム H=6.0m 砂防ダム H=6.0m 砂防ダム H=6.0m	
15	〃	防災・安全 交付金	通常砂防	福河内川	三重町	中津留	(0) 4,000	継 続	C = 244,000 C = 4,000 C = 102,050	砂防ダム H=12.0m 砂防ダム H=12.0m 砂防ダム H=12.0m	
16	〃	防災・安全 交付金	通常砂防	栗栖川	朝地町	栗林	(0) 1,000	継 続	C = 380,000 C = 1,000 C = 86,000	砂防ダム H=8.0m 砂防ダム H=8.0m 砂防ダム H=8.0m	
17	〃	防災・安全 交付金	通常砂防	羽飛川二支溪	三重町	秋葉	(0) 1,000	継 続	C = 216,000 C = 1,000 C = 136,400	砂防ダム H=8.0m 砂防ダム H=8.0m 砂防ダム H=8.0m	
18	〃	防災・安全 交付金	通常砂防	志田原川	犬飼町	山内	(0) 50,000	継 続	C = 175,000 C = 50,000 C = 76,000	砂防ダム H=6.0m 砂防ダム H=6.0m 砂防ダム H=6.0m	
19	〃	防災・安全 交付金	地すべり対策	山内地区	犬飼町	山内	(0) 22,000	継 続	C = 550,000 C = 22,000 C = 73,300	A = 35.5 ha 抑制工 1式 抑止工 1式	
20	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	寺田地区	朝地町	朝地	(0) 42,000	継 続	C = 250,000 C = 42,000 C = 89,000	L = 130 m L = 22 m L = 46 m	
21	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	菅生地区	三重町	菅生	(0) 2,000	継 続	C = 150,000 C = 2,000 C = 30,300	L = 140 m L = 2 m L = 28 m	
22	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	寺原地区	緒方町	寺原	(2,000) 5,000	継 続	C = 131,000 C = 5,000 C = 69,700	L = 240 m L = 9 m L = 128 m	
23	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	小福手鳥穴地区	犬飼町	田原	(0) 1,000	継 続	C = 180,000 C = 1,000 C = 147,000	L = 150 m L = 1 m L = 123 m	
24	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	田原地区	犬飼町	田原	(0) 20,000	新 規	C = 225,000 C = 20,000 C = 205,000	L = 150 m L = 13 m L = 137 m	

令和7年4月1日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調書

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工事費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の別	概要	全体事業費 令和7年度 8年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算)(m)
					町名	大字					
25	〃	補助	砂防メンテ	長田地区	千歳町	前田	(0) 1,000	継 続	C = C = C =	1,000	地すべり施設修繕工 1式
26	〃	補助	砂防メンテ	松尾川	三重町	鷺谷	(0) 1,000	継 続	C = C = C =	1,000	砂防堰堤修繕工 1式
27	〃	補助	砂防メンテ	鷺谷地区	三重町	鷺谷	(0) 1,000	継 続	C = C = C =	1,000	地すべり施設修繕工 1式
28	〃	補助	砂防メンテ	山内地区	犬飼町	山内	(0) 8,000	新 規	C = C = C =	8,000	地すべり施設修繕工 1式
29	〃	補助	砂防メンテ	山内地区	犬飼町	山内	(0) 8,000	新 規	C = C = C =	8,000	地すべり施設修繕工 1式
30	〃	補助	砂防メンテ	山内地区	犬飼町	山内	(0) 4,000	新 規	C = C = C =	4,000	地すべり施設修繕工 1式
31	〃	補助	砂防メンテ	羽部地区	大野町	桑原	(0) 10,000	新 規	C = C = C =	10,000	急傾斜施設修繕工 1式
32	〃	補助	砂防メンテ	柿ノ木地区	三重町	百枝	(0) 6,000	新 規	C = C = C =	6,000	急傾斜施設修繕工 1式
33	〃	補助	砂防メンテ	志手前地区	三重町	赤峰	(0) 4,000	新 規	C = C = C =	4,000	急傾斜施設修繕工 1式
			砂防計	20ヶ所			(2,000) 192,000				

令和7年4月1日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図 番 号	区 分	種 別	工 種	路線・河川名	位 置		工 事 費(千円) 上書き（ ）は用補費	新規継続 の 別	概 要	全 体 事 業 費 令 和 7 年 度 8 年 度 以 降	C＝金額（千円） L＝延長(換算)(m)
					町 名	大 字					
34	街 路	防災・安全 交付金	街路事業	駅前高市線	三重町	赤嶺～市場	(265,000) 265,000	継 続	C = 958,000 C = 265,000 C = 92,540	L = 380 m L = 105 m L = 37 m	

令和7年4月1日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工事費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の別	概要	全体事業費 令和7年度 8年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算)(m)
					町名	大字					
35	県営住宅	防災・安全 交付金	県営住宅 改善事業	下矢倉住宅	竹田市	君ヶ園	(0) 18,280	継 続	C = C = C =	18,280	住宅改善一式
36	県営住宅	防災・安全 交付金	県営住宅 改善事業	菅尾住宅	三重町		(0) 60,000	継 続	C = C = C =	60,000	住宅改善一式
			住宅計	2 ヶ所			(0) 78,280				
	総 合 計			38 ヶ所			(272,000) 2,081,272				

令和7年4月1日現在

※注1:工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。
 ※注2:歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。
 ※注3:事務費除きの工事費を記載しています

(3) 単 独 事 業 調 書

事 業 名	工事費(千円)	摘 要	事 業 名	工事費(千円)	摘 要
交通安全事業	31,175		急傾斜地崩壊対策事業	62,000	
側溝整備事業	6,321		砂防施設再生事業	20,000	
道路防災事業	49,598		砂防調査費	3,124	
身近な道改善事業	64,185		砂防施設・急傾斜地災害防止緊急対策事業	62,000	
道路改良事業	243,125		砂防改修事業	8,000	
道路施設補修事業	123,994		砂 防 計	155,124	
道 路 計	518,398		街路改良事業	50,570	
緊急河床掘削事業	60,000		都市計画 計	50,570	
河川海岸改良事業	30,000		県営住宅等管理対策事業	2,800	
河川施設災害防止緊急対策事業	140,000		建 築 計	2,800	
河 川 計	230,000		共生のまち整備事業	3,940	道路のみ
			地域の安心基盤づくりサポート事業	4,854	
			そ の 他 計	8,794	
			単独事業合 計	965,686	

令和7年4月1日現在

(4) 災害復旧事業進捗状況調書

金額 (千円)

年災別	査 定 決 定 工 事 費		実 施 (発 注) 工 事 費		令和6年度までの完了工事費		残 工 事 費 (B-C)		進 捗 率 (B)/(C)
	箇所数	金額(A)	箇所数	金額(B)	箇所数	金額(C)	箇所数	金額(D)	
R 3 災	9	44,420	9	52,927	9	52,927	0	0	100%
R 4 災	27	448,232	27	465,411	27	465,411	0	0	100%
R 5 災	2	12,056	2	15,041	2	15,041	0	0	100%
R 6 災	29	746,018	29	748,113	0	0	29	748,113	0%
計	67	1,250,726	67	1,281,492	38	533,379	29	748,113	42%

(5) 検 査 箇 所 調 書

年 度 別	平成27年度から 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	摘要
検査箇所数	1087 箇所	194 箇所	179 箇所	201 箇所	157 箇所	147 箇所	
請 負 金 額	20,942,632 千円	3,587,733 千円	3,350,705 千円	3,835,669 千円	2,904,679 千円	2,842,367 千円	

(6) 建設リサイクル法第10条に基づく届出及び第11条に基づく通知件数

年度		H29	H30	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	備考
区分		2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	
	届 出	116	114	117	121	98	107	112	98	
	通 知	455	433	426	496	472	418	412	382	

※届出とは国の機関又は地方公共団体以外の者が行う場合

※通知とは国の機関又は地方公共団体が行う場合

4. 用地登記事務処理状況

(1) 用地登記事務処理状況（昭和38年度以降分）

年 度	S38～R1	R2	R3	R4	R5	R6	合 計
取 得 筆 数	21,533	110	83	91	88	68	21,973
R5年度までの 処理筆数	21,265	110	83	91	70	0	21,619
R6年度中の 処理筆数	6	0	0	0	18	57	81
残 筆 数	262	0	0	0	0	11	273
登 記 率	98.78	100.00	100.00	100.00	100.00	83.82	98.76

5. 建築関係事務処理状況

(1) 建築確認申請（計画通知含む）、建築工事届、建築許可件数

区分 \ 年度	R1迄	R2	R3	R4	R5	R6
土木毎	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分
建 築 確 認 申 請 受 理 件 数	115(7)	38(5)	35(1)	30(4)	22(1)	16(3)
建 築 工 事 届 受 理 件 数	368	86	95	72	64	69
建 築 許 可 申 請 受 理 件 数	1	0	0	0	0	0

※（ ）は、外数で変更確認受理件数を示す。

(2) 建築基準法による道路位置指定件数

区分 \ 年度	R1迄	R2	R3	R4	R5	R6
土木毎	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分
件 数	2	0	0	0	0	0

(3) 都市計画法第29条第1項及び第2項に基づく開発許可件数

区分 \ 年度	R元迄	R2	R3	R4	R5	R6
土木毎	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分
件 数	5(2)	2(1)	0	1(0)	0	0
面 積 (ha)	8.0	1.3	0	1.3	0.0	0.0

※（ ）は、内数で変更許可件数を示す。

令和 7 年度事業箇所

